

ボンネットバス「マロン号」復活の経緯

1978年（昭和53年8月）

九州産業交通株式会社から寄贈を受け、山江養魚場（現山江温泉ほたるに保管展示される。



1992年（平成4年8月中旬）

地域住民でバスを走らせたらの願いで、役場から村民にボンネットバスを走らせよう会の結成を呼びかける。

1992年（平成4年8月24日）

会員12名でボンネットバスを走らせよう会を結成。

1992年（平成4年8月31日）

熊本いすゞ人吉営業所へバス移動。エンジン、足回りを熊本いすゞで

内外装のレストアを走らせよう会で担当することを決定し作業にかかる。



1992年（平成4年9月23日）

山江温泉センターで開催された村おこしイベントで熊本いすゞから牽引され会場に到着、会場内を自力走行。

1992年（平成4年10月～）

熊南産交、人吉球磨自動車協会、人吉オールドファンクラブ等の協力を得てボンネットバスの登録手続きに入る。



1993年（平成4年12月9日）

九州産業交通株式会社へ、手続き書類の作成を依頼する。

1993年（平成5年1月8日）

九州運輸局熊本陸運支局へ新規登録申請書を提出する。

1993年（平成5年1月28日）

九州運輸局熊本陸運支局へ新規登録許可の連絡が入る。

1993年（平成5年2月4日）

整備のため再び熊本いすゞへ移動。（仮ナンバーで自力走行）

1993年（平成5年2月17日）

熊本陸運支局で持ち込み車検を受ける。ナンバーを付け帰ってくる。

1993年（平成5年2月19日）

熊本いすゞから山江村へ車検
渡し。

